

●結実が確保されている園地は、仕上げ摘果・見直し摘果を進めて下さい。品種別の着果基準は、特報№6参照。
●病害虫は、黒斑病の発生が散見されます。秋姫等の品種は防除を徹底して下さい。
◎収穫開始予想を更新しましたので、ご確認ください。(平年比▲5日。裏面に記載)

1. プラム (2回分の防除を掲載)

【第11回 定期防除】 対象病害虫：シンクイムシ類、カメムシ類、ケムシ類

散布時期	・7月5日～14日 (第10回定期散布から10日後)		
散布薬剤	水	100ℓ当り	散布日 7月 日 散布量 ℓ
	展着剤 (まくぴか)	20mℓ	
	テッパン液剤	50mℓ (前日、2回)	
	アルバリン顆粒水溶剤	50g (前日、3回)	
散布量	10aあたり 500ℓ		
注意事項	①【秋姫などの黒斑病 (かいはよう病) 対策】 バリダシン液剤5 の500倍 (14日前、4回) 又はスターナ水和剤1000倍 (7日前、3回) を加用する。 ②【灰星病 対策】 オンリーワンフロアブルの2,000倍 (前日、3回) を加用する。 ③【ハダニ類 対策】 ダニゲッターフロアブルの2,000倍 (前日、1回) を加用する。		

【第12回 定期防除】 対象病害虫：灰星病、(すす点病)、アブラムシ類、(シンクイムシ)

散布時期	・7月15日～24日 (第11回定期散布から10日後)		
散布薬剤	水	100ℓ当り	散布日 7月 日 散布量 ℓ
	展着剤 (まくぴか)	20mℓ	
	フリントフロアブル25	50mℓ (前日、2回)	
	劇) バリアード顆粒水和剤	50g (前日、2回)	
散布量	10aあたり 500ℓ		
注意事項	①【秋姫などの黒斑病 (かいはよう病) 対策】 バリダシン液剤5 の500倍 (14日前、4回) を加用する。 ② 収穫間際の品種は、バリアード顆粒水和剤に代えて、アルバリン顆粒水溶剤の2,000倍 (前日、3回) を散布する。		

2. プルーン

【第6回 定期防除】 対象病害虫：灰星病、(炭そ病)、アブラムシ類、(カメムシ類)、(シンクイムシ類)

散布時期	・6月26日～7月3日 (第5回定期散布から14日後)		
散布薬剤	水 100ℓ当り		散布日 ____月 ____日
	展着剤 10mℓ		散布量 _____ℓ
	劇バيسロイドEW 33mℓ (14日、2回)		
	パレード15フロアブル 50mℓ (前日、2回)		
散布量	10aあたり 500ℓ		
注意事項	①【代替】パレード15フロアブルに代えて、フルーツセイバーの1500倍(前日、3回)でもよい。		

●スモモヒメシンクイ フェロモントラップ調査結果について

越冬世代の発生はやや落ち着きましたが、引き続き注意が必要です。薬剤散布10日以内の防除を徹底してください。

2021年	一本木		草間		上今井		倭	
	R3	R2	R3	R2	R3	R2	R3	R2
4月14日	設置		設置		設置		設置	
4月21日	1		0		0		0	
4月28日	2	設置	0	設置	2	設置	0	設置
5月5日	3	17	5	22	1	6	4	36
5月12日	9	9	10	17	1	7	24	15
5月19日	31	20	23	31	2	7	19	40
5月26日	17	36	10	10	1	0	20	86
6月2日	28	21	6	8	2	1	8	11
6月9日	9	4	5	5	0	20	4	39

*調査機関：北信農業農村支援センター 数字はスモモヒメシンクイ成虫の誘殺数

●管理作業

☆新梢成長が旺盛な園地が散見されます。樹冠内部まで光が入るよう、新梢管理を徹底して下さい。

☆笠掛け(貴陽、太陽等)は、6月下旬を目安に実施する。

●収穫開始予想 *前回の予想から更新しました。

「南部地域」で、平年より5日程度早まると予想されます。

- ・大石早生 - 6月25日頃
- ・紅りょうぜん - 7月10日頃
- ・サントス - 7月15日頃
- ・菅野中生 - 7月15日頃
- ・ソルダム - 7月20日頃
- ・サマーエンジェル - 7月25日頃
- ・貴陽 - 7月28日頃